

COMPASS 松茂

令和
5年
度

討議日：令和5年10月26日

公表日：令和6年2月26日

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースの関係で適切である	6	1	整理整頓を心がけて適切な活動スペースを確保するとともに、日々職員で話し合い、その日の利用児童に合わせて臨機応変に空間対応できるように努めています。	今後も、適切なスペースの確保と環境整備に努めてまいります。
	2 職員の配置数は適切である	5	2	基準配置を上回る職員数を保ち、一人ひとりにしっかり関わることのできる体制を作っています。	児童数に応じて今後も適切な人員を配置・確保して運営してまいります。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	2	5	現在、車椅子利用の児童の受け入れはあります。階段やトイレには段差や狭さがあり、スロープの設置はなく、バリアフリーとなっていないため状況に応じて職員が見守り、付き添っています。児童に分かりやすいよう、学習する場所、遊びの場所と、視覚的にも環境や情報が分かりやすいように配慮しています。	賃貸の為、ハード面での大幅な改修は難しいと考えられますが、保護者様のご意向を取り入れながら必要に応じて環境や対応について協議・検討してまいります。 階段やトイレの段差にはより注意し、事故防止に努めています。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	6	1	毎日、サービス提供時間前に全職員で集まり、利用児童の支援について話す時間を設けています。 また、定期的に会議をおこない、評価や課題分析・日々の振り返りや業務改善についても話し合い共通理解に努めています。	今後も同様にPDCAサイクルによる業務改善に全職員で努めています。
	5 保護者様向け評価表を活用するなどによりアンケート調査を実施して保護者様の意向等を把握し、業務改善につなげている	7		毎年アンケートを配布し、ご意見やご意向を把握することにより、改善につなげています。	
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報や公式Webサイト等で公開している	7		COMPASS発達支援センター公式Webサイトにて公開しております。	今後も公式Webサイトで公開してまいります。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	5	現時点では第三者評価は実施できておりません。	第三者による外部評価については今後の課題として検討してまいります。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5	2	定期的な研修を実施し、職員の資質の向上の機会を確保しております。	今後も本社作成の動画の視聴研修やオンライン研修、その他ケース会議などで勉強会を継続し、外部研修にも積極的に参加してまいります。
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、児童と保護者様のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	7		アセスメントを適切におこない、児童の特性や状況、保護者様のご意向に基づいて児童発達支援計画を作成しております。	
	10 児童の適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7		標準化されたアセスメントツールを使用し、状況の把握に努めています。	
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	6	1	季節にあったものを取り入れるなど職員間で話し合い、全員がチームとなって立案しております。	今後も継続して、全職員間での話し合いを密にし、さまざまな観点からプログラムを立案してまいります。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6	1	児童の状況に合わせ、個別療育のほか、イベントや毎月の製作・集団活動も取り入れ、活動が固定化しないように工夫しております。	今後も継続して個別と集団を組み合わせながら、プログラムが固定化しないよう工夫してまいります。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	5	2	平日は放課後の限られた時間での利用ということもあります。学習課題に取り組む支援を主におこなっていますが、週末や、長期休暇には児童の課題に沿った支援と、楽しめる活動をバランスよく取り入れるようにしています。	継続して平日・休日・長期休暇それぞれに応じた課題を設定し、児童が楽しみながら活動に参加できるように配慮してまいります。
	14 児童の状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	6	1	個別療育を基本とし、集団活動も取り入れた児童の特性に応じた支援計画を作成しています。	今後も、保護者様ともご相談のうえ、児童の特性に応じた個別の活動を組み合わせた発達支援計画を作成してまいります。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7		その日の役割分担等については職員間で必ず確認してまいります。 また児童の様子についてもその時々で伝え合いながら、共通認識を図っております。	
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7		支援終了後には全員での打ち合わせが難しい場合もありますが、連絡ノートや翌日のミーティング等で活動で気付いた点などの情報を共有しております。	
	17 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7		支援内容やその日の体調、様子を記録し、気になったことは職員間で周知し、ミーティングノートを活用して支援の改善や検証に取り組んでおります。	
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	7		定期的にモニタリングをおこない、現状を把握して見直しの必要性を判断しております。	
関係機関や保護者様との連携	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	7		利用児童の課題・保護者のご意向を基にガイドラインの示す活動を組み合わせて支援計画を練り、支援を行っていくように職員間で周知していくように努めています。	
	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその児童の状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7		対象児童について、事前に職員間で話し合い、現状把握のうえで、児童発達支援管理責任者が担当者会議に参画しております。	
	21 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、児童の下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	7		保護者様から学校行事や時間変更を教えていただき、学校とも連携を図り、下校時間の確認等連絡調整をおこなっております。	
	22 医療的ケアが必要な児童を受け入れる場合は、児童の主治医等と連絡体制を整えている	2	5	現在医療的ケアが必要な児童は在籍していません。	事業所は重症心身障害以外の児童が対象となっていることもあり、今後受け入れ希望があった場合は、慎重に検討し、受け入れ体制・事業所のあり方について模索してまいります。
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	5	2	保護者様のご意向を確認したうえで、各関係機関との情報共有と、相互理解を深めていくように努めています。	今後も、関係機関との連携を大切に支援内容等情報共有と相互理解に努めています。
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	3	4	今までに該当する児童がいないため、提供には至っておりません。	今後該当する児童が通所する場合には、適切に対応するべく準備をしていきます。
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5	2	コロナ禍でもあったため、外部での研修参加は控えさせていただいていましたが、オンライン研修への参加は積極的に参加させていただいている。 また専門機関と連携し、必要時には相談できる態勢を整えております。	今後も同様に専門機関や他事業所との連携を図り、助言や機会があれば積極的に研修に参加し、療育に活かしてまいります。
保護者様への説明責任等	26 放課後児童クラブや児童館との交流など外部との活動する機会がある	2	5	コロナ禍もあり交流等は控えています。 保護者様のご意向も伺いながら、今後共生社会に向けた後方支援への児童の社会参加や、ほかの児童を含めた集団の中での成長を支援できるよう学童や児童館など一般的な支援施設等とも連携しながら、専門的なバックアップもおこなってまいります。	感染予防・個人のニーズ・保護者様のご意向を確認・検討し、個人情報をふまえて今後の課題とします。
	27 （自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	1	6	コロナ禍でもあったため、外部での研修参加は控えさせていただいていましたが、オンラインでの参加へは積極的に参加させていただいている。	研修へは積極的に参加していく予定にしております。
	28 日頃から児童の状況を保護者様と伝え合い、児童の発達の状況や課題について共通理解を持っている	7		送迎時や連絡帳のやりとりなどで保護者様とお話をする機会を作り、児童の発達の状況や課題について共通理解を図っています。	
	29 保護者様の対応力の向上を図る観点から、保護者様に対し家族支援プログラム（ペアレンツ・トレーニング等）の支援を行っている	2	5	送迎の機会に保護者様のお悩みやお困りごとをお聞きし、必要な助言や効果的な支援方法等をその都度お伝えするよう努めています。 また療育上必要でご家庭での協力が仰げるものはご提案し、可能な限り取り組んでいただいている。	今後も保護者様との普段からの何気ない会話や児童の状況についての話し合いを多く持ち、お気軽に相談していただける信頼関係を大切にしてまいります。
	30 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7		保護者様に分かりやすいように丁寧なご説明をおこなっております。 また契約時のみならず保護者様のご要望があるときは、再度分かりやすく丁寧に説明しています。	
	31 保護者様からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7		連絡帳または送迎時を利用していつでもお話ししていただけるように日頃からのコミュニケーションを大切にしています。	
	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催したりするなどにより、保護者様同士の連携を支援している	7		コロナ禍でもあり実施してはいません。 保護者様の希望も伺いながら、今後保護者様同士の連携の場を提供していくように活動の支援をさせていただきます。	保護者様のご理解や、プライバシーに配慮しながらご意向を踏まえ、交流の機会を検討してまいります。
非常時等の対応	33 児童や保護者様からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	7		苦情や申し入れの対応には苦情窓口と責任者を設け迅速に対応できるよう努めています。 また利用の中でのご意見等は事業所内で報道相をおこない、改善策を保護者様にご提案しております。	
	34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定・連絡体制等の情報を児童や保護者様に對して発信している	7		公式Webサイトのブログにて事業所の様子をお伝えしています。またCOMPASSだよりを年4回季刊発行しています。 連絡帳で行事予定やおしらせ、毎月の様子を写真とともに分かりやすく事業所だよりとして掲載・配布しております。	
	35 個人情報の取扱いに十分注意している	7		個人情報に関する書類は鍵付き書庫で保管し、取り扱いには十分配慮しています。 情報使用時には必ず保護者様に同意を得ています。	
	36 暗がいのある児童や保護者様との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7		保護者様の状況、また児童の特性や状況に応じた配慮を心がけ、意思の疎通や、情報伝達に努めています。	
	37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		7	現時点では事業所行事に地域住民をご招待するような企画は行えていません。	今後保護者様のご理解やプライバシーに配慮しながらご意向を踏まえ、交流の場を検討してまいります。
	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者様に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	7		各種マニュアルは壁面に提示して保護者様に手にとってご覧いただけるようにしています。 また、定期的に児童とともに避難訓練を実施しております。	
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難・救助その他必要な訓練を行っている	7		避難訓練は児童も参加して、定期的に実施しております。 連絡帳のカレンダーで、前月に実施予定日をお知らせし、避難訓練の様子は当日は口頭や、連絡帳記載でお伝えし、次月の連絡帳カレンダーを通じてもご紹介しております。	
非常時等の対応	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6	1	事業所内で職員研修を実施し、虐待防止について周知に努めています。	今後も継続して虐待防止研修を行い、外部研修へも積極的に参加してまいります。
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、児童や保護者様に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	7		現在の利用児童には身体拘束が必要なケースはございません。 利用契約書には身体拘束の禁止を記載しており、生命または身体拘束を行う場合は、あらかじめ文書により保護者様の同意を得ております。	
	42 食物アレルギーのある児童について、医師の指示書に基づく対応がされている	5	2	現在指示書がある児童は在籍していませんが、アセスメントや保護者様に確認をおこない、利用児童のアレルギーについては全職員が把握し、対応できるようにしています。	今後も同様に児童の情報を更新しながら、現状把握に努めています。
	43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6	1	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している。	今後も同様に記録を残し、事故防止に努めています。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。